

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
80
2019.4



06-07| グローバル教育センター発足

02-03| 理事長&学長メッセージ 04-05| 東京家政大学は2021年に創立140周年を迎えます。

08-09| 総合研究プロジェクトの推進「ひとの生(Life)を支える学の構築」 10-13| 東京家政大学の教育改革&学生支援について

17| かせい森の産後ケアサロン 18-19| 乳幼児施設が新たにスタート! 20-21| 附属女子中学校・高等学校 24| 活躍する卒業生

理事長メッセージ

理事長 菅谷 定彦

「三つの改革」を加速

武蔵野のみどりの風薫る4月の渡辺学園。板橋、狭山の広大で都心にも近い校舎に、本年も数多くの新入生を迎えました。皆さんの夢や希望は、堅実な学園経営の下、優れた能力と豊かな経験を持つ教職員から学び取ることで実現できます。進級した学生の皆さんも入学当時の「初心」を改めて確認の上、新年度を機に自己研鑽を積み上げて、日本活性化の一翼を担う気概を持って学びにいそいそしてください。

学園理事長の3年間「財政」「教育」「意識」の三つの改革を推進してきました。18歳人口が2018年以降急減を続ける中、私学の経営は厳しさを増し、全国私立学園の4割が赤字経営に陥っています。また過去10年間で見ると、全国の私立女子大学は94校から73校に減少、私立中高の減少率はこれをさらに上回っています。

渡辺学園の経営は中核である東京家政大学の安定した入学者を主因に黒字経営を堅持していますが、附属中学・高校と幼稚園・ナースリーは長年赤字を続けています。この二部門の赤字増に歯止めをかけないと学園経営に重大な支障をきたすと判断、過去3年間、理事会主導で様々な経営策を講じてきました。

幼稚園・ナースリーは4月から「認定こども園」に衣替え、定員を増やすと共に板橋区の協力を得て再出発することを決定、赤字は段階的減少の目途が立ちました。半面、中・高は二度に渡るコスト削減策などを実行しましたが、巨額赤字の主因である生徒の減少に歯止めがきか

本年、東京家政大学は創立138年を迎えました。明治・大正・昭和・平成の時代を経て、「令和」へ改元の年、本学にとっても、新しい時代のスタートです。校祖渡邊辰五郎先生が和洋裁縫伝習所を開かれた時代と、今の状況は大きく異なり、女性の大学進学率はますます高まっています。また、一般的には、男子学生よりも女子学生の方が、「良い成績」を収めているといわれています。そのような大学を出た女性が社会の中核で大活躍する時代がこれからやって来ます。長寿化や少子化、人口減少社会など、時代を見通し、東京家政大学は変わらなければなりません。

教育面では、数年かけて検討してきた大きなカリキュラム改定が本年度から実施されます。自校教育やキャップ制の導入、百分授業の実施など、新たな取り組みが始まります。また、グローバル教育センターが稼働します。語学の習得とグローバルマインドの養成、国際交流の更なる促進を目指しています。研究面では、昨年の7月に、「140周年とその先を目指して―本学の将来ビジョン―」を策定し、今後の方向性を示すと同時に、「ひとの生(Life)」を支える学の構築」という総合研究プロジェクトに取り組み始めました。この「Life」には生命・生活・生涯の意味が含まれています。なぜか。本学の学部・学科を集めると、人の一生に関わる学びと仕事の資格がそろいます。教員の研究分野・内容も、人の生命・生活・生涯に関わるものです。5年をかけて取り組む総合的な研究を基に、人の生

新しい時代の東京家政大学をめざして

学長メッセージ

学長 山本 和人



ず、2019年度の高校入学者は定員の6割強、中学は3割にまで落ち込みました。附属中・高は家政大の拠点、板橋という好立地。環境にも恵まれているとすれば、改革の中心はコスト削減の強化に加え、教育の大胆な拡充を図る以外、再生の道はありません。

「意識改革」は理事会、教職員、学生間の日常的な双方向・タテヨコナメのコミュニケーション力の強化です。情報の共有なくして正しい政策決定は出来ず、構造不況に突入した私学の中での生き残りは困難と考えています。

学校法人渡辺学園 東京家政大学 理事長 菅谷 定彦

- 昭和32年 3月 甲陽学院高校卒業
- 昭和36年 3月 早稲田大学 第一政治経済学部卒業
- 昭和36年 4月 日本経済新聞社 入社
- 昭和46年 3月 日本経済新聞社 ニューヨーク特派員
- 昭和62年 3月 日本経済新聞社 米州編集総局長 (在ニューヨーク)
- 平成 2年 3月 日本経済新聞社 取締役 大阪本社編集局長
- 平成 5年 3月 日本経済新聞社 常務取締役 名古屋支社代表
- 平成10年 3月 日本経済新聞社 専務取締役 大阪本社代表
- 平成13年 6月 テレビ東京 代表取締役社長
- 平成19年 6月 テレビ東京 代表取締役会長
- 平成23年 6月 テレビ東京 取締役相談役
- 平成29年 6月 テレビ東京 特別顧問
- 平成28年 4月 学校法人渡辺学園 理事長

東京家政大学 東京家政大学短期大学部 学長 山本 和人

- 昭和49年3月 埼玉大学教育学部小学校教員養成課程(教育学専修)卒業
- 昭和53年3月 東京教育大学大学院修士課程教育学研究科社会教育専修修了 [教育学修士]
- 昭和54年3月 筑波大学博士課程大学院教育学研究科社会教育学専修博士課程単位取得後退学
- 昭和54年4月 金沢大学・大学教育開放センター助手(昭和62年3月まで)
- 昭和62年4月から本学に勤務
文学部長、図書館長、地域連携推進センター所長、人文学部長を歴任
- 平成29年4月 学長就任

(Life)を支える研究と教育の大学を目指します。

また、長い歴史を持つ生活科学研究所や特色ある研究を行ってきた女性未来研究所をはじめ、生涯学習センター、ヒューマンライフ支援センター、地域連携推進センターがより機能を発揮できるよう、次年度には、総合的な研究機構として生まれ変わる準備をします。卒業生の皆様をはじめ、いつになっても必要な方々が学べる機会を提供する機関として、また、産官学民連携の拠点として活躍していくことになるでしょう。

東京家政大学は2021年に 創立140周年を迎えます。

— 学園の歴史 —

1881(明治14)年	渡邊辰五郎が裁縫私塾「和洋裁縫伝習所」を本郷湯島に開設
1922(大正11)年	「東京女子専門学校」に改称
1946(昭和21)年	1945年に東京大空襲で校舎焼失 新校地(現在の板橋校舎所在地)へ移転
1947(昭和22)年	「渡辺高等女学校」を母体として「渡辺女子中学校」(新制)を設立
1949(昭和24)年	「東京家政大学」を設置
1950(昭和25)年	「東京家政大学短期大学部」を設置
1953(昭和28)年	「東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園」を設置
1986(昭和61)年	狭山校舎を開設し、文学部を設置
1989(平成 元)年	「東京家政大学大学院」を設置
1991(平成 3)年	創立110周年記念式典挙行
2006(平成18)年	創立125周年記念式典挙行
2009(平成21)年	板橋校地拡張に伴い全学部を板橋校舎に集約 文学部を人文学部に改称
2014(平成26)年	狭山校舎を開設し、看護学部、子ども学部を設置 「東京家政大学 かせい森のおうち」(保育所) 「東京家政大学 かせい森のクリニック」を狭山校舎に開業
2016(平成28)年	「東京家政大学 かせい森の放課後等デイサービス『つくし』」開業
2018(平成30)年	看護学部を改組し、健康科学部を設置
2019(平成31)年	「東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園」を 「幼稚園型認定こども園 東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園」に変更
2021年	創立140周年を迎える

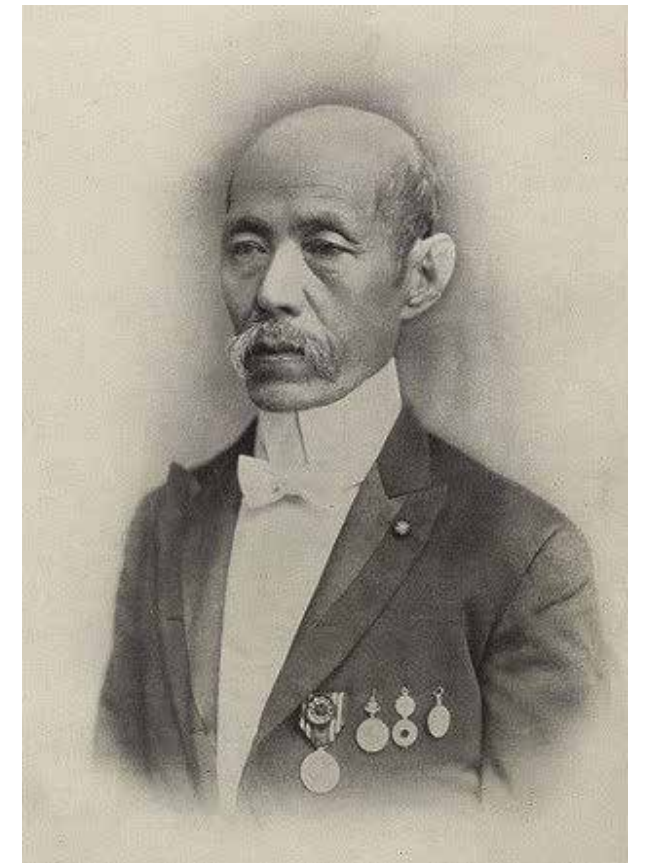
そして、2014年に看護、2018年にリハビリテーションが加わり、幅広い人材を育成できる女子大学となりました。

創設から138年という長い期間を経た今も一貫して受け継がれているのが、「自主自律」の精神と、教育と衣食住を中心とした「女性の専門性を高める教育」です。これまでに10万人を超える卒業生を社会に送り出してきました。特に教員養成施設としての認可を受けてから

は、創設者の意志を継いだ卒業生たちが全国の教壇に立ち、自分たちが学んできたことを次の時代へ引き継ぐための努力を重ねています。

自ら学校を設立した卒業生も多く、名古屋の杉山女子大学や広島県の安田女子大学、鹿児島県の志学館大学、ブラジル・サンパウロ市の赤間学院(現エスコラ・ピオネイロ)等大学や短大だけで全国に21校、高校や各種学校、幼稚園・保育所を含めると100校以上になります。

— 校祖 渡邊辰五郎 —



校祖 渡邊辰五郎

近代日本の教育家として、国立国会図書館ホームページの「近代日本の肖像」に福沢諭吉、新島襄、津田梅子、吉田松陰と並び称されています。

和洋裁縫指導者となれる女性の育成を目指す

本学園(東京家政大学)の始まりは、1881(明治14)年にまでさかのぼります。その前身は、創設者である渡邊辰五郎が本郷湯島(文京区湯島)に開いた「和洋裁縫伝習所」。辰五郎は仕立屋に奉公して身につけた裁縫の技術を広めるため、東京女子師範学校(現お茶の水女子大学)で教鞭をとるかたわら、本郷湯島の自宅を解放し、伝習所を開きました。当時、裁縫技術は女性の必須教養とされており、手に職を付け、和洋裁縫指導者となる女性たちの育成を目指したのです。

それまでの裁縫技術の伝授は「対一での指導」でしたが、多くの生徒に一度に教えられるよう、型紙の縮小図を掛図にした裁縫掛図などを取り

「自主自律」の精神を次世代へ引き継ぐ

太平洋戦争中の1945(昭和20)年、東京大空襲により本郷湯島の校舎は焼失したため、翌年には校舎を板橋(現在の板橋校舎)に移転しました。1949(昭和24)年には東京家政大学を、また翌年には、東京家政大学短期大学部を設立し、家政系以外にも、英語や造形表現、カウンセリングや福祉分野などの学科を増設。

入れた集団指導法を確立し、裁縫を学校教育として位置付ける基礎を築きました。同時に職業教育や「自主自律」をねらいとした知識や教養、法律などの授業も実施し、社会的に自律できる女性の教育に力を注ぎました。

21世紀に羽ばたく新しい女性像を目指す

教育職以外にも保育や食と健康、服飾、美術、心理、福祉、環境、更に看護などの活躍の場は多くの分野に広がっています。彼女たちの心の中に共通して息づいているものは、「意欲」です。高い専門性と女性ならではの視点を発揮し、社会に貢献したいという思い。それは大学の学びの中で「女性として何が出来るのか」という問いかけに悩み、努力し、導き出した答えであり、結論なのです。

日本では国政選挙で女性の参政権が認められたのは戦後からです。昭和30~40年代前半の高度経済成長期でも、女性の多くは専業主婦として家庭に入るのが一般的と言われてきました。しかし、21世紀となり男女共同参画が求められる現在、女性の社会的活躍の場は広がり、あらゆる分野で男女を問わず優れた人材が必要とされています。本学園は、建学当時から基本精神を今に伝え、これからの時代のニーズに応えられる新しい女性のあり方を問い続けていきます。

Tokyo Kasei Press なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子(なでしこ)の花が形どられています。「平成」から「令和」の時代となった本年発行のTokyo Kasei PressをA4サイズでの広報誌にリニューアルし「なでしこ」の通称名を付けました。これからの時代を「しなやかに凛と生きる」女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

校章の変遷 — 東京家政大学 —

<p>東京裁縫女学校 1892(明治25)年 ～1930(昭和5)年</p> <p>大和撫子の花がかたちどりられ、その中心に創立者である渡邊辰五郎の家紋(三星一文字紋)がおかれ、愛を意味する撫子によって母性愛と教育愛を象徴している。</p>	<p>東京女子専門学校 1922(大正11)年 ～1948(昭和23)年</p> <p>鳩は平和を、飛んでいる姿に自由を、鳩の純白は純潔を意味する。炬火の明るい光は叡智を、その赤く燃えている。愛を意味する撫子によって母性愛と教育愛を象徴している。</p>	<p>財団法人渡辺学園 1922(大正11)年 ～1930(昭和5)年</p> <p>東京裁縫女学校の校章と東京女子専門学校の校章を組み合わせた記章は学園として両校をあらわす時に用いられ創立記念品などにみられる。</p>	<p>東京家政大学 1949(昭和24)年～</p> <p>題字を「大学」と改め、楯は強固な意志を、かがり火は叡智と聡明を、焰は真心と情熱を、そして鳩は自由と平和を象徴し、その白は純潔を意味している。</p>
--	---	--	--

2019年4月 国際交流センターがグローバル教育センターに発展
 これまでの「高い専門的知識・能力」に加え
 「グローバルマインド+英語力(語学力)」を持つ学生を育成

グローバル教育センター

4月1日より、板橋校舎16号館の2階にグローバル教育センターがオープンしました。

東京家政大生は「高い専門性、専門知識を有する」のイメージが強く(日経BPコンサルティングの「大学ブランド・イメージ調査2017-2018」)、在学中に身につけた専門性を活かし、各分野で活躍しています。今後グローバル化する社会で活躍するためには、



English Lounge プライベートレッスン

様々な人々と共生する姿勢など、グローバルマインドを身につけ、自分の専門性を活かすための英語力を身につけることが必要になります。また海外研修・留学を通して、語学力を身につけ、異文化に触れ、様々な文化を持つ人たちと交流する経験も貴重なものになります。

そのような「高い専門性、専門能力」に「グローバルマインド+英語力(語学力)」を持つ東京家政大生を育成するために、昨年度まで大学における国際化を推進してきた1993(平成5)年4月に設立の国際交流センターが行ってきたことを発展させ、さらにグローバル化する社会に対応する機関として、グローバル教育センターは設立されました。

「グローバルマインド育成」「語学教育」「海外研修・留学」の3部門編成

グローバル教育センターは、「グローバルマインド育成部門」「語学教育部門」「海外研修・留学部門」の3つからなります。それぞれの活動の一部を紹介します。

【グローバルマインド育成部門】では、本学の留学生との交流イベント、特別講座・講演会などを開催します。昨年度はBBCの大井真理子さんをお迎えし、ご講演をいただきました。また本学の海外協定校から来る外国人留学生と交流する「TKUサマープログラム」を毎年夏開催しています。さらに授業として、「英語による教養・専門科目」の開講を予定しています。大学にいなから経験できるこのような機会を通して学生はいろいろな人たちと触れ合い、刺激を受け、自分の世界を広げることができます。



キャンパス英会話

【語学教育部門】では、英語力を高めるために、英語学習の様々な機会を提供します。英語力は授業だけの学びでは十分ではありません。また、学生が将来必要とする英語力やニーズも一人一人違います。グローバル教育センターでは、個々のニーズやレベルに応じた英語力を高める学びの機会を提供します。1つ目は、English Loungeでの学びです。ここでは、プライベート(または小グループ)レッスンをネイティブスピーカーから受けることができます。内容は学習者が希望する内容に幅広く対応します。各レベルの英会話、大学院生の論文・学会発表のサポート、面接対策、英文履歴書の書き方などです。2つ目は、オンライン英会話です。Skypeでの英会話レッスンを受けることができます。今まで国際交流センターが行っていた好評の「キャンパス英会話」も中級クラスを新たに設置します。3つ目は、新たにスマートフォン、コンピュータなど様々なデバイスでいつでもどこでも学ぶことができるe-learningプログラムです。総合英語コース、TOEIC®対策、英文法や医学・医療の単語を学ぶコースなどが用意されています。4つ目は、英語学習アドバイザー制度です。学生個々の生活とニーズに合わせ経験豊富なアドバイザーが、学生の相談に乗ります。自分に合った英語学習方法を見つけることで学生の英語力の向上に寄与します。5つ目は、学内でのBBC(イギリスの公共放送)放映です。LUCEなどで常時放映しており、英語学習だけでなく、世界情勢に興味を持ったり、視野を広げたりすることに繋がります。

【海外研修・留学部門】では、これまで国際交流センターが行っていたプログラムを充実させ、学生に貴重な機会を提供します。プログラムは多岐に渡ります。現在、世界10カ国14大学と提携し、大学企画の海外派遣プログラムとして23の研修を実施しています。語学研修は短期、長期があり、研修・留学先は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、韓国、台湾、ドイツにある本学の提携大学です。また各学科の専門領域について学ぶ研修は、ハワイ大学環境保全&英語研修、マッセイ大学幼児・初等教育&英語研修、フランス服飾美術研修、ウエスタンシドニー大学栄養&英語研修、イタリア文化・美術研修などがあります。

グローバル化する社会で活躍する東京家政大生を育てるためのグローバル教育センターにご期待ください。



English Lounge クリスマスイベント



講演をお願いし(写真右)、その後本学の研究プロジェクトに参加している3名の教員より、本学で行っている研究を紹介しました。

環境教育学科藤森文啓教授は「カビが作る化合物II宝」と題して、未発見微生物から新規化学物質を単離して応用する研究の重要性を示し、教育福祉学科松岡洋子准教授は「地域のつながりが高齢者の健康な生の基盤」の題で、ヨーロッパの実例から北区ボランティア活動についてまでのプラットフォームづくりの可能性を講演しました。また、子ども支援学科の阿部崇准教授は、「知的障害特別支援学校における願いを育む授業実践の検討」として、知的障害特別支援学校の中学部における実践研究を報告し、本学の様々な研究者の参加を促し、多角的研究を促しました。これらの研究は、本学の研究の幅の広さと深さを示すものです。本学との地域連携を行っている板橋区、北区、入間市、狭山市の市役所の方々も参加して下さい、本学の実践的研究が進展し、情報の発信が期待できます。

ひとの生(Life)を

支える学の構築

健康生活研究の東京家政大学

東京家政大学総合研究プロジェクトの推進 —「ひとの生(Life)を支える学の構築」研究の挑戦—

本学は近代日本の教育者渡邊辰五郎先生を校祖として、1881(明治14)年、前身である和洋裁縫伝習所として誕生し、1949(昭和24)年に東京家政大学へと生まれ変わりました。建学以来、女子教育の大学として数多くの指導者を輩出するとともに、自立した女性、資格を持った職業人・スペシャリストの養成を行ってきました。さらに、学部・学科・大学院等を充実させ、今日に至っています。

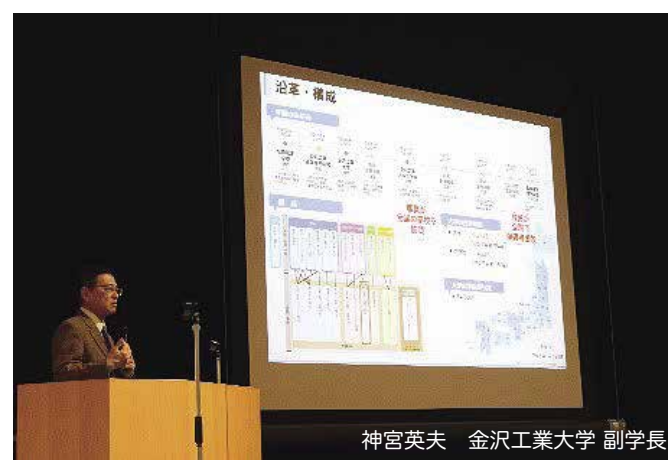
「ひとの生(Life)を支える学の構築」研究一覧

子ども期	1	野澤 純子	宮島 祐 阿部 崇	田中恵美子	インクルーシブな教育推進のための障害理解推進モデルの構築 —教員養成・現職教員研修教材の開発—
	2	澤田めぐみ	塩入 輝恵 木村 博人	長谷川 望	初等教育における医学教育プログラムの推進～栄養教諭を中心として
青年期	3	三浦 正江	平野 真理 井上 俊哉	岡島 義 五十嵐友里	青年期女子における精神的健康の向上を目的とした予防的プログラムの開発と効果の検討
	4	峯木真知子	関目 綾子 和田 涼子 太田 一樹	澤田めぐみ 田中 寛 富田 知里	大学生の不定愁訴と食事状況の関連と解決策の提案
子育て期	5	赤石 記子	加藤 和子	海老塚広子	子育て家庭の健康を支援する食事作りの提案
	6	藤田藍津子	田中恵美子 玄番千恵巳	今留 忍	子育て世代の健康な生を支える学—親になるプロセスを支える学の構築—
壮年期	7	藤森 文啓	池田 壽文		豊かな Life (生) 実現のための、環境微生物由来の二次代謝産物(化合物)の活用に関する研究
	8	佐藤 吉朗	澤田めぐみ	峯木真知子	香味成分の添加による新たな減塩食の開発および視覚効果を利用した低カロリー食の開発
	9	池田 壽文	藤森 文啓	峯木真知子	QOL 向上を実現するための超高感度で迅速な遺伝子診断装置の開発
	10	田中恵美子	内野 美恵 和田 涼子	加藤 和子	健康的な食を通じた持続的な地域生活を実現するための支援システムの構築—働く障害者の食改善を取り掛かりとして—
高齢期	11	濱田 仁美	潮田ひとみ		高齢者用衣料品の風合いと快適性
	12	松岡 洋子	和田 涼子		高齢者の健康な生を支えるボランティア活動と専門職・公的機関の協働
	13	内野 美恵	木元 幸一 清水 順市 澤田めぐみ	西村 純一 大畑 瞳 田淵 千晶	女性未来研究所との協同研究・健康寿命の延伸を目指したライフスタイルの提案～高齢者のフレイル(虚弱)における基本評価結果の経年変化についての検証
	14	和田 涼子 澤田めぐみ	峯木真知子 富田 知里	駒込乃莉子	高齢者の健康な生活を支えるための肺炎予防～誤嚥性肺炎の予防に向けたエスプーマ法による嚥下困難者用食品の開発とヨーグルトによる免疫力改善効果の検討

本学は教育の大学として知られる一方で、教員による研究成果も数多く公表されて来ましたが、研究分野の幅の広さから、研究の特色を社会に対し明示的に伝えることには消極的でした。また、科学技術の進歩や生活の現代化など、家政学研究分野の発展と社会の進展により、家族や家庭内で追及されてきた価値や諸活動が次第に社会で担われるようになる中で、同時に、「家政」という用語も見られなくなりました。しかし、家族や家庭がなくなったわけでも、家族・家庭の存在しない社会もありません。

そこで、本学の独特のプロジェクト研究を2017年度より検討し、2018年度後半から取り組みを開始しました。大きな研究テーマとして、「ひとの生(Life)を支える学の構築」を掲げ、東京家政大学としての教育・研究を推進し、研究面での特色化を図ることにしました。ここに、本学の研究の根幹を「ひとの生(Life)を支える学」の総合的研究として、社会にエビデンスのある健康生活も知恵である家政大メンソッドの情報を発信する挑戦を始めます。

これらの研究には本学4学科にまたがる研究者約40名が参加しており、子ども期から高齢期までの5つのライフステージに分けて研究し、その成果は公開講座、書籍、学会発表、プラットフォームでアウトプットしていきます。これらは、少子高齢化が進む地域の課題を解決へ導くことに貢献すると考えられます。同時に本学の研究の知名度および自立した生活基盤を有する女性を育成する家政大学の



神宮英夫 金沢工業大学 副学長

イメージ向上を目指します。

まず、2019年2月18日にこのプロジェクトの本格的なスタートとして、キックオフシンポジウムを開催しました。金沢工業大学副学長の神宮英夫先生に基調

東京家政大学の教育改革

本学では、学生にとっての最適な教育環境を目指して、様々な教育改革を進めています。2019年度から導入する教育改革について3つ紹介します。

1 キャップ制の導入

※2019年度入学生より適用。短期大
学部には適用されません。また、キャップ
制の対象とならない科目が一部あります。

キャップ制とは、学生のみなさんが1
年間で履修登録できる単位数に上限を設
ける制度です。この制度は、授業の予習・
復習・課題などの学習時間を授業時間以
外で十分確保し、授業科目の学修を1単
位あたり45時間を必要とする内容で構成
することを標準とするために導入します。
学生のみなさんに、授業を受けるにあたっ
て必要に応じた予習・復習・課題や自主
学習をきちんとした上で授業に出席して
もらうことで、授業科目の到達目標を達
成し、みなさんが学習成果を最大限獲得
できるものと想定しています。

なお、学生のみなさんが深く学び、成
長していくための学修達成度の評価方法
とGPA (Grade Point Average)
制度も以前より導入しています。GPA
制度とは科目の成績評価にグレードポイ
ントをつけて、1単位あたりの成績の平
均値を算出したものです。学習成果を履修

【科目の特徴】

- ・家政学部・人文学部の新入生全員が学
科横断の協同学習で学びます。
- ・教員が知識を伝授する形式をとらず、
学生どうしで主体的に学べるように工
夫しています。
- ・家政学部・人文学部の全学科から選ば
れた30名の専任教員が担当します。
- ・全クラスにチューデント・アシスタ
ント（上級生）を1名配置し、新入生
のよき「先輩」として東京家政大学で
の学びを支えます。

【授業計画】

- ・第一、二回 授業の特徴の確認・共有
／協同学習の理論と技法を学ぶ。
 - ・第三～八回 東京家政大学の歴史から
学ぶ。
 - ・第九～十四回 社会と向き合うプロジェ
クトに取り組み。
- この科目を担当する教員やチューデ
ント・アシスタントには、授業計画案を
配付するとともに事前研修を行い、「学生
どうしの協同」、「学生主体の学び」など、
科目が重視している点についての共有を
図っています。

全学科から選ばれる担当教員は、これ
までの大学教育で主流だった「教員が学
生に知識を教え込む（伝授する）」講義型
の授業ではなく、「学生の能動的な学修
への参加を取り入れた「アクティブラー
ニング型」の授業」の教授方法を学ぶこ
とになります。科目を担当教員は毎年代
わりまわりますので、この科目を担当すること
が本学のファカルティ・ディベロップメ

単位数ではなく「量的データ」で評価す
るとともに、学修指導の参考にしていま
す。（算出対象とならない科目が一部あり
ます。）

2 1時限

100分授業の導入

※板橋キャンパスのみ適用

キャップ制の導入にあわせて、1時間
の授業時間を90分から100分に変更し
ます。これは1コマの授業時間を10分間
延ばすことで授業に時間のゆとりを与え、
一つ一つの授業をより深く掘り下げ、探
求できるようにするために導入します。
これにより、教員には従来の授業方法だ
けではなく、新たな手法を取り入れる時
間的余裕が生まれるため、多様な魅力
ある授業が展開されるようになることを
期待しています。このように多様で魅力
ある授業を展開することで、大学教育の
質向上を図ることを目的としています。

この100分授業の導入では、1回の
授業時間が10分長くなる代わりに、半期
の授業回数が1回分減ることになります。

ント（FD）活動の一環となることも期
待しています。（本学におけるFDの定義
：建学の精神である「自主自律」の道を歩
むことのできる人材、生活信条としての「愛
情・勤勉・聡明」を実践できる人材の育成
に向けて行われる、組織的かつ継続的な教
育改革の取り組みの総称です。）

チューデント・アシスタントには、
20分程度でこれまでの自分を振り返り、
これからの自分を新入生に向けて発表し
てもらう機会を設けています。新入生が
「先輩」をロールモデルとし、これからの
大学生活を見通すことができるようにな
ることが目的ですが、同時にチューデ
ント・アシスタントにとっても自己分析
を行いこれまでの自分を振り返る機会と
なり、また「プレゼンテーション能力」
の成長にもなることをねらっています。

以上3つの新しい取り組みを紹介しま
したが、これらの改革をおおして、学生
のみなさんが東京家政大学を、これから
歩む自分の人生の基盤とし、将来の目標
に向かって、学修・生活の両面において
主体的に行動できるようにすることを期
待しています。また、学生のみなさんは、
留学やインターシップ、ボランティア
活動など正課外活動の時間を現在よりも多
く確保することができるようになります。
今回の教育改革により、みなさんがより
充実した学生生活を送られるようになる
ことを切に願っています。

詳細は本学ホームページ
をご覧ください。



あわせて、板橋キャンパスでは、100
分という授業時間を有効に活用できるよ
うに、すべての学科においてカリキュラ
ムを見直し、改正を行いました。

3 自校教育科目

「スタートアップセミナー 自主自律」の開講

※ごも学部においても同名科目が開
講されますが内容が少し異なります。

大学に入学した学生が、自分が通う大
学（自校）の建学の精神や歴史、社会的
な役割などについて学ぶ科目のことを自
校教育科目と呼びます。2019年度に
家政学部・人文学部の一年生必修の自校
教育科目を開講するための準備は、
2016年11月に始まりました。本学に
入学した学生のみなさんが、生活信条「愛
情・勤勉・聡明」をわがものとし、建学
の精神「自主自律」にもとづく人生に踏
み出すにはどんな科目であればよいか、
教職員が協同して検討を重ねた結果、以
下に記した特徴を持つ、愛校心を培う授
業科目としました。

国家試験に強い東京家政大学

教育福祉学科

社会福祉士国家試験 私立大学現役合格率日本一を達成!

社会福祉士

第31回
社会福祉士国家試験
現役合格率 **96%**
(全国平均合格率28.9%)

精神保健福祉士

第21回
精神保健福祉士国家試験
現役合格率 **89%**
(全国平均合格率62.7%)

栄養学科

管理栄養士国家試験 栄養学科管理栄養士専攻(新卒)の合格率

管理栄養士

第33回
管理栄養士国家試験
合格率 **99%**

看護学科

看護師・保健師・助産師国家試験

看護師

第108回
看護師国家試験
合格率 **100%**

保健師

第105回
保健師国家試験
合格率 **93%**

助産師

第102回
助産師国家試験
合格率 **100%**



2019年度からの新時間表			2019年度からの授業構成	
時限	開始時間	終了時間	1時限	100分授業
1	9:00	~ 10:40	半期	14回
2	10:55	~ 12:35		
昼休み(50分)				
3	13:25	~ 15:05	通年	前期 14回 後期 14回
4	15:20	~ 17:00		
5	17:15	~ 18:55		

※板橋キャンパスのみ適用

東京家政大学の学生支援について

「細井愛子奨学金」がスタート!

2019年度に新しい奨学金「細井愛子奨学金」が始まります。

特徴は、①経済的理由により修学が困難な学生を支援すること、②25万円を授業料から減免すること、③他奨学金を利用中でも併用可能なことです。本年度は全学で25名を採用予定です。＊応募条件等の詳細は募集要項を参照してください。



経済的困窮度を優先にした奨学金を新設したい

本学では約3割の学生が日本学生支援機構の貸与奨学金を利用し、この中には借入総額が4年間で800万円以上になる学生もいます。

こうした現状から、学生の経済的負担を少しでも減らしたい、トップクラスの成績優秀者でなくても真面目に通学し意欲がある学生であれば支援の機会を提供したい、これが奨学金を担当する学生支援課・学務課の新設奨学金に向けた思いでした。

年収300万円以下を対象成績は標準的であれば応募可能に

この想いを具現化するべく約1年かけて細井愛子奨学金は構想され、新入生は成績を問わず、2年生以上の在生は標準的な単位数を修得済でGPAが2.0以上であれば応募可としました。年収300万円以下の世帯を対象として、経済的困窮度を最優先に選考を行います。また、採用者でも次年度以降の応募を可能としています。願書配布は3月29日～4月26日まで、学生支援課(板橋校舎)または学務課(狭山校舎)で取り扱っています。

「学生生活支援行事」

「ビリギャル」本人が本学で講演!
(6月27日(木)学生支援セミナー)

本学の学生は真面目で勤勉とよく表現されますが、過去の学生支援セミナーのアンケートでは、「自分に自信がない」「壁」がつかると感じてしまう」「周囲からどう思われるのかを気にしすぎてしまう」などの悩みが寄せられていました。

目標を持ちアクティブな学生生活を

この現状を打開する処方箋として、「一日でも一時間でもいいから元気で前向きな気持ちになってもらいたい。」「目標を持ちアクティブに学生生活を過ごすキッカケにしたい。」「という思いで、本年度の学生支援セミナーの企画を進め、映画化もされ話題を集めた「ビリギャル」のモデルとなった小林さやか氏をお招きして講演会を実施することになりました。

ご本人によるリアルな内容に期待!

映画「ビリギャル」では、目標を持つことが自分の人生を切り拓くこと、家族や友人など周囲との関係性の築き方、辛い時に壁を乗り越える力、母親の娘を信じる強さなどが描かれています。ご本人による講演ではよりリアルな話が聞けるはずですよ。

講演会は学生のみ対象、告知はポータルで配信します。応募者多数の場合は抽選となります。

〈日時〉6月27日(木)15時30分～1時間程度

〈場所〉板橋校舎

(狭山校舎へはサテライト中継) ※予定

本年度の学生生活支援行事は新企画が目白押し!

全学部・全学年を対象にした学生生活支援行事は、参加学生のアンケートやリクエストを参考に企画をします。本年度は、学生支援セミナーの「茶道体験」や観劇等講座の「オーケストラ」など、これまでにない新企画を用意しました。

リクエストの多かった「茶道体験」

過去には歌舞伎や大相撲、落語といった日本の伝統を体験する講座を学生生活支援行事では取り扱ってきました。本年度は毎年学生からのリクエストが多かった茶道体験を実施します。

「究極のおもてなし」とも称される茶道を板橋区立文化会館の和室で体験します。当日は抹茶の点て方や作法の他に、講師による茶道の精神やおもてなしの心についての解説も含まれます。いよいよ東京オリンピック・パラリンピックを来年に控える本年度、茶道を通じて「おもてなし」を実際に自分自身で体験することは、日本の文化や伝統を改めて見直し、その素晴らしさに気づく機会になるでしょう。

オーケストラ公演をサントリーホールで鑑賞!

「興味はあっても自分ではなかなか行く機会がない」と学生の皆さんが躊躇してしまいがちな観劇等を教養講座として取り扱っています。本年度は、クラシックの聖地・サントリーホールで行われる東京交響楽団のオーケストラ公演を手配しました。

まずは好奇心を行動に移してみる、気に入ったら自分ので世界を広げてみる、観劇等講座が学生の皆さんの人生を彩る入口になりますよ!

◆各講座の募集開始となりましたら、学生向けポータルで告知します。学生生活支援行事のお問い合わせは、学生支援課または学務課まで。

サークル紹介

マンドリンクラブの活動

2018年度サークル団体表彰「マンドリンクラブ」 — 高齢者や子ども向け演奏会での地域交流活動が評価



た歌詞カードを配ったところ、観客の皆さんが自然と歌を口ずさんでくれ、盛り上がりました。」

好評につき、既に今年度の依頼も!

昨年の演奏が大変好評で、板橋消防署からは是非今年もと、既に依頼がきているそうです。地域と真摯に向き合い、一生懸命に練習を重ね、誠意を込めた演奏が聴いてくださるお客様に伝わっている証拠ではないでしょうか。

部長の女性らしいリーダーシップ

新井さん自身、部長として「練習を詰めすぎると部員に疲れが溜り、演奏が暗く重くなってしまうので、部員の様子を観て練習時間を調整しています。」と語り、部員の体調やメンタル面を考慮するなど、女性らしいリーダーシップを発揮しています。

5月の大型連休には他大学とのジョイントコンサートも予定されています。是非演奏を聴きにお越しください。

【今後の演奏会】

青山学院大学・昭和女子大学・東京家政大学マンドリンクラブジョイントコンサート
〈日時〉5月5日(日) ※時間未定
〈場所〉三鷹市芸術文化センター風のホール
※統報はホームページ参照

本学では、公認サークルの中でも際立って活躍した個人や団体を年1回表彰しています。今回は、2018年度の表彰団体が地域交流活動が評価された「マンドリンクラブ」をご紹介します。

入学式や卒業式の演奏で、その独特の愛らしく柔らかな音色をお聞きになった方も多いのではないのでしょうか。2018年度のサークル表彰では、板橋消防署「ファイヤーフェスティバル」での子ども向け演奏会、板橋区の様々な施設での高齢者向け演奏会への協力が評価されました。今回は、部長の新井紅葉さん(大3環境教育学科)にお話を伺いました。

地域活動は自分たちに返ってくる

今回表彰された地域交流活動について新井さんは、「依頼演奏をすると、そのお客様たちが私たちの他の演奏会に来てくれることもあります。また、観客の方から生の声を聞けるので、次の演奏会ではここを見直そうといった改善に繋がります。自分たちにプラスになって返ってきます。」と話し、部員一同、地域からの依頼はできる限りお受けしようという方針です。

観客に合わせた選曲で工夫を凝らす

それぞれの依頼演奏では、その都度工夫を凝らし、「消防署の演奏会は子ども向けなので『さんぽ(となりのトトロ)』を演奏すると、子どもたちが楽しんでくれました。高齢者施設では『いい日旅立ち』『川の流れるように』を演奏し、部員が作っ

研究大会、
学会に参加して
スキルアップしたい!

作品をたくさんの人に
見てもらいたい!

レシピ本や絵本を
作りたい!

学んだことを
講演会で
発表したい!

あなたの夢を叶える

後援会ドリームプラン奨学金

学生生活をより豊かなものにするために、本学在学中の学生で、個人的・社会的に有意義でオリジナリティにあふれるユニークな計画を持っている個人またはグループに対して、その計画の実現を後援会が助成することを目的として給付する奨学金です。

- **給付額** 一つの計画につき、上限30万円
- **申請書の提出** 郵送または後援会事務局まで提出
- **応募資格** 本学在学中の学生であること
- **審査** 後援会役員より書類選考及び面接
- **募集** 2019年4月1日～5月31日まで

詳細はこちらから!

応募から採用までの詳細や所定申請書等をウェブサイトに掲載しています。

後援会ドリームプラン奨学金

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/user/parents/koenkai/scholarship.html>



2018年度採用者一覧

学年・学科・科	申請内容・用途
1 大 栄養学科 2 管理栄養士専攻	白湯の提供 (SAYU CAFE)
2 大 3 栄養学科 3 栄養学専攻	スイーツ研究・販売
3 大 3 服飾美術学科	ハダイロ (作品の展示・販売)
4 大 3 造形表現学科	原点回帰 (個展開催)
5 大 4 栄養学科 4 管理栄養士専攻	学会での研究発表にチャレンジ
6 大 4 児童学科 4 育児支援専攻	こそだてどんりゅう てらこや道場
7 大 4 服飾美術学科	ふたり展 (服飾小物の展示・販売)
8 大 4 服飾美術学科	Pirapoca (オリジナルブランド)の展示・販売

私が理想の飲み物だと思っている白湯の魅力をより多くの方に知ってもらいたいと思い、温泉水や外国のお水などを白湯にして飲み比べてもらう「SAYU CAFE」を知人の協力を得て、2018年8月中旬に千葉県勝浦市のワークショップと朝市の2ヶ所に出展しました。

ワークショップでは台風が近づいており、あまり集客は望めないかもしれないとのことでしたが、それにも関わらず多くの方が訪れてくださいました。「白湯の飲み比べなんて面白いね」と興味を持ってくださった方や、飲む前は不思議そうなお顔をしながらも飲んで後「全然違う!」と言って驚いている方、「これを機会に朝活として飲んでみようかな」とおっしゃ

てくださる方もいて、企画した甲斐があったと思います。

また、子ども連れの方が多く、白湯をよく知らない小学生くらいの子どもたちにも知ってもらえる機会になりました。

朝市は、遠見岬神社の敷地内で出展させていただきました。猛暑日でなかなか白湯を飲んでもらえず、他に多くのお店がある中で興味をもってもらうようにすることが思ったより難しかったです。

後援会ドリームプラン奨学金をいただいたおかげで「SAYU CAFE」を出展することができ、人の興味を引くことの難しさや、「コミュニケーション力」の大切さを改めて学びました。この経験を今後の人生に活かしていきたいなと思います。ありがとうございました。

活動報告 SAYU CAFE(カフェ)を終えて

栄養学科管理栄養士専攻2年

千葉県長南町 レンコンメニュー考案

包括協定を提携している千葉県長南町の特産品のレンコンを使ったメニューコンテスト(栄養学科・栄養科対象)を2016年から実施しており、初年度実施した丼ぶりメニュー開発で入賞したメニューが北園女子学生会館(板橋キャンパスより徒歩5分)にて提供されました。

今後は、学内でも提供できるように進めています。お楽しみに!



産学連携事業 東京家政大学 ×味の素(株)×(株)ビッグ・エー

味の素株式会社と株式会社ビッグ・エーとの産学連携事業「勝ち飯®“主菜”レシピコンテスト」が2月14日本学を会場に開催されました。

栄養学科・栄養科の学生から集まった26レシピの中から書類選考を通過した10レシピがコンテストへ出場し、株式会社ビッグ・エーの社長を中心に、栄養学科 土屋教授、ヒューマンライフ支援センター 内野准教授を含む審査員団による厳選なる審査を経て入賞6レシピが決定しました。

入賞レシピはメニューリーフ化され、ビッグ・エーの店頭にてPRされる他、味の素レシピサイトへの掲載も予定されています。



学生が狭山警察署の 1日署長に

リハビリテーション学科1年の岩瀬詩織さんが狭山警察署の一日警察署長となり、12月14日狭山警察署での出陣式と狭山市内での防犯キャンペーンに参加しました。狭山キャンパス内でのキャンペーン、狭山警察署内での出陣式宣誓後は狭山市駅前にて地域の方々へチラシを配布し、年末年始の防犯対策をアピールしました。

狭山校舎オリジナルキャラクターの「かせいのモリタン・かせいのモリリン」も応援部隊として、岩瀬さんと共に防犯キャンペーンに貢献しました。



北区等とオリンピック・パラリンピックへの広報支援

ヒューマンライフ支援センターでは北区包括提携の一環として、北区、東洋大学と共に、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた広報支援の取組みを行っています。

活動は2017年度から2020年度まで実施予定で、2018年度は、本学と東洋大学の学生、計7名でプロジェクトチーム(1期)を結成し、「#ときおぱ」と命名しました。2019年度は、東京家政大学より3名加わり、計10名で活動しました。(2期)

3月31日(日)は、「桜ウォーク2019」「東京2020大会500日前記念イベント」を開催されました。

2019年度は、東京家政大学では、3名が継続、新規メンバーを2名加えて計5名と東洋大学(現在選考中)で実施します。



北区指導の下制作した紙面は、北区にある「味の素ナショナルトレーニングセンター(通称NST)」やNSTへ続いている「ROUTE2020トレセン通り」周辺を北区にゆかりのあるアスリートと一緒に紹介して、区民の方が東京2020オリンピック・パラリンピックへの関心をもっていただくことを目的としています。企画、取材、撮影、紙面のレイアウト、印刷の色確認に至るまで学生が行っています。

2月20日に花川與惣太北区長へ表敬訪問として特集号の完成を報告しました。(写真左)

産後の母親自身のセルフ能力を高めます

産後の母親の健康が、その後の女性の自立や親子関係の発展に大きく関わってきます。特に産後ケアについては、産後うつ予防や虐待防止の観点から注目され、ニーズが高まっています。

昨年9月、厚生労働省研究班は妊産婦が死亡する原因の約3割が自殺で、最も多かったという調査結果を発表しました。産後のうつは、出産した母親の十人に一人の割合で現れ、産後のうつのリスクを高める要因は、育児不安やストレスが考えられています。家族等周囲のサポート不足が指摘されるなかで、産後の早い時期から母親の心の健康を守るという動きが各自治体で広がっています。産後ケア体制は十分に整っているとはいえません。

出産は人生の始まりです

人々の健康に対する関心は強まり、価値観が変わってきているなかで、健康科学看護学科とリハビリテーション学科は、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が継続できるように、地域社会との連携や交流を発展・充実させていくことを目標に、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問歯科、産後ケアの4部門から成るかせい森の訪問看護ステーション（仮称）の開設準備を進めてきました。5月には、かせい森のクリニックと連携した「かせい森の産後ケアサロン」がオープンします。

そこで、かせい森の産後ケアサロンは、身体的回復と心理的な安定を図り、健やかな育児ができるよう、助産師や保育士等の専門職者が支援することを目的に、産後ケア事業に取り組みます。利用対象は、出産後に自宅に戻っても手伝わてくれる人がいない、ベビーの世話や生活リズムがわからない、授乳がうまくいかないう等サポートを必要としている入間市在住の産後4か月未満の母親とその乳児です。

3号館に増設した産後ケア相談室（写真）で、囁託の助

かせい森の産後ケアサロン

狭山キャンパスにOPEN!!



産後ケア休憩室

産師と看護学科母性・助産学領域の教員が相談に乗ったり、アドバイスしたり、手厚い支援をします。また、他領域・他学科の教員も関わり開催する乳幼児の保護者向けの教室や保護者が交流できるイベント、妊婦、乳幼児とその保護者（父親、母親、祖父母）を対象とした「ベビーマッサージ、産後ヨガ、バランスボールを使った産褥体操、乳幼児の遊び方教室、妊婦体操、パパママクラス（妊娠期における育児準備教室）等を企画しました。お産や育児の疲れで体調がよくない方には、クリニック診察室の一室を転換した産後ケア休憩室

で、ゆっくり休める環境を提供します。学生が産後ケア事業について学ぶための実習施設としても活用します

健康科学部・子ども学部ともに実践能力の育成を図る上で、知識・技術を統合し、実践へ適用する能力を育成する教育方法の一つである臨床実習が重要な位置を占めますが、看護教育においては、実習施設の不足が課題となっています。母性看護実習は、先発の大学が実習をしない期間に組むことになり、希望する期間に実習を実施することは困難です。また、2週間の病棟実習が1週間しかできないため、母性及び新生児に必要な看護を学修するには、かなり厳しい状況下です。

子ども支援学科では、乳幼児と接した経験がない学生は、乳児の抱き方や幼児との遊び方がわからず戸惑っています。また、将来保育士として仕事をされる際、子どもとの信頼関係以上に、その保護者との信頼関係も重要になってきますが、臨床実習を通して母性の特徴を理解する機会は多くありません。こうした状況から、附属病院を持たない本学は、かせい森のクリニックと連携した「産後ケアサロン」は、母子との関わりやケアを体験する学修の場として活用できます。

なお、事業開始の時期は、5月からを予定しており、地域貢献の一助となることを期待し、協定を結んだ狭山市および入間市と連携し、展開していきます。

Welcome to 東京家政大学図書館!



板橋2F 閲覧室

板橋図書館 外観



板橋1F プラザ



いつも活気に溢れています。

板橋2F 読書室・キャレル



集中したいときに最適な個人スペースです。



板橋2F 和室

畳敷きの場所とだけではないでください。天井や床の間の造りはただものではありませんよ!

新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。大学・短大での学びに不可欠な大学図書館はどちらのキャンパスの図書館も同じように利用できます。大きな窓のある空間、ラーニングcommonsでのPCロッカーを利用したグループ学習、読書室でひとり考える時間を持つなど、様々な場が用意されています。



図書館キャラクター バニー・ホンガスキー

図書館へ会いに来てクダサイ

2018年度図書館総合展図書館キャラクターグランプリにて会場賞と出展社賞をダブル受賞しました。



狭山2F スタディクルーズ



狭山2F ラーニングcommons

明るく広い空間で、自由に会話をしながら学びを深めましょう。

実習前の準備も、試験前の勉強も、この場所でバッチリ!



狭山図書館 外観

あなたのトクベツな場所を見つけてみませんか?!

東京家政大学



狭山1F 閲覧室

2019年度東京家政大学の 乳幼児施設が新たにスタート！

2019年度よりナースリールームは、事業所内保育所の機能を備えた板橋区の認可保育所「東京家政大学ナースリールーム（事業所内保育所）」として、またみどりヶ丘幼稚園は保育園機能をもつ「幼稚園型認定こども園 東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園」として新しい一歩を踏み出します。定員の増加、保育時間の拡大で、より地域に開かれ、また現代の多様な家庭、就業状況にも今まで以上に対応することが出来るようになりました。更にナースリールームと幼稚園が連携園となったことも大きな変化の一つです。かねてより合同研究会などを通じ、同じ学内にある施設として0歳から就学前までの子どもたちの一貫した乳幼児教育の場としての連携について模索してきました。様々な可能性を探る中で、ナースリールームの51年、みどりヶ丘幼稚園の65年の伝統と実践を生かしながら、これまで通りそれぞれが独立した施設としての歩みが続けつつ、保育理念を共有し交流しながら、共に質の高い乳幼児の保育と教育をめざしていきたいと考えています。

3～5歳 みどりヶ丘幼稚園について

みどりヶ丘幼稚園新園舎1階には、自園調理となる給食室と開放的な大きな窓を配したランチルーム兼多目的ルームが設置され、2階には、窓いっぱい緑の森が広がる景色が印象的な4歳児の保育室ができました。

2019年度からは園児の定員が90名から140名に増えます。そのうちの112名は、1号認定として、これまでと同じように入園審査を経て入園が決まる幼稚園枠の子どもたちとなります。28名は板橋区の利用調整を経て入園が内定する2号認定（保育園枠）の子どもたちとなります。

各学年2クラス構成となり、これまで以上に多様な豊かな人間関係を経験できる園となります。開園時間は7時30分～18時30分までとなり、認定により子どもたちの登降園時間に違いは生じますが、園生活は同じクラスで一緒に過ごします。

また、みどりヶ丘幼稚園では、長年子育て支援の一環として預かり保育「ももの時間」を開室してきました。9時～14時までの幼稚園の教育時間の後、希望者は17時までの保育を受けることができます。「今日はももの！」と園に残って遊ぶことを楽しみにする子どもも多く、安心して遊べる時間と場所を保障することの大切さを実感してきました。今後とも1号認定に関しては、「ももの時間」を開室します。14時以降も預かり保育利用の子



板橋区認可保育所 東京家政大学 ナースリールーム(事業所内保育所)



幼稚園型認定こども園 東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園

どもと2号認定の子どもと一緒にのびのびゆったりと園生活を送るようになります。

ナースリールーム、みどりヶ丘幼稚園ともに今まで以上に多様なご家庭のお子さんを受け入れることとなります。入室入園の経緯は様々ですが、同じ時に同じ場所で乳幼児期の大切な時期を共に過ごすことには変わりはありません。それぞれの園の職員が今まで以上に連携を密にし、

0～2歳 ナースリールームについて

ナースリールームは5名の定員増員に伴い、新たに保育室を増設致しました。その他今までの大きな違いは2点あります。一つ目は、入室する際に学園関係者（従業員・学生）が直接契約で入室する従業員枠と、板橋区の利用調整を経て入室する地域枠という2種類の入室方法になったことです。そして二つ目は保育時間の拡大です。今までは一律9時～17時までの8時間保育を基本としていましたが、これからは、7時30分～18時30分の11時間開所となり、ご家庭の状況に合わせて相談しながらその範囲内で保育時間を決めていくという仕組みになります。1967年の創設当初からの「乳幼児の最善の利益を考える」という理念を守りながら、現代の多様な生き方や仕事の仕方に対応し、ご家庭と共に一人ひとりがその子らしさを大切にされながら自分のペースで成長していけること、子育てを通して子どもと共に大人も成長していけるような保育を志していきたいと思っています。

東京家政大学附属
みどりヶ丘幼稚園
園長
本村真弓

2019年4月より園長を拝命いたしました本村真弓と申します。私は東京家政大学を卒業後、本園に就職して以来、保育者として子どもの傍らでその成長を見守り、支えてきました。この度、大きな節目の年に大任を仰せつかり、責務の重大さに身が引き締まる思いです。これからも教職員一同で力を合わせて、子どもも保護者も安心して、イキイキのびのびと自己発揮し、互いに育ちあえる園を目指して参りたいと思います。今後ともご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

東京家政大学
ナースリールーム
施設長
工藤佳代子

今年度より保育時間や人数などの変化はありますが、いつの時代も子どもたちは変わりません。自然豊かなキャンパスの中のびやかに過ごし、ナースリールームやみどりヶ丘幼稚園の職員他、たくさんの方々に見守られ、未来を担う子どもたちが一人ひとり個性豊かに健やかに成長していく場所となるよう、子育てを世代の方々のご協力となるよう、子ども、保護者、職員皆で学び成長していけるよう努力して参りたいと思います。

両施設の子どもたちが日々関わりを持つことで、お互いに各専門性を深め、広げ、子どもや保護者への理解や関わりがより豊かになる可能性があるのではないかと期待しています。

新園舎の建設、増改築に関して、学園関係者の皆様には、両施設に対してのご理解とご協力を頂き、2019年度新たなスタートを迎えられますことに心より感謝申し上げます。

附属中学校・高等学校

高校キャリア教育

〈ヴァンサンカン・プラン〉

本校では、「自主自律」の精神を身に付け、社会で活躍できる女性となるため、年次に合わせたキャリア学習「ヴァンサンカン・プラン」を4月当初より進めます。

高校1年生は、4月には職業に関する「グループワークガイダンス」を行い、世の中にある多くの職業について理解を深めます。また、5月に実施される「キャリアゼミ」では大学生と座談会を開き、「少し先の未来」についてそれぞれのイメージを膨らませていきます。

高校2年生は、9月に実施される「ふれあいと学びの旅」で、本校の修学旅行としては初めて、オーストラリアに行きます。高校2年生の新クラスになると同時に、現地でのファームステイ、学校交流へ向けて各クラス準備を進めていくこととなります。また、夏休みにはボランティア体験及び、その研究や発表



大学生や社会人の話に熱心に聞き入る高校生

なども行うため、1学期のうちから、今後の自分の生き方に根ざしたボランティア体験先を選んでいきます。

高校3年生は、小論文・志望理由書の作成から、模擬面接など、一人ひとりの受験に応じた実践的な活動を行っていきます。

このようにキャリア教育では、3年間を通して未来を拓くしなやかな女性を育てています。

中高合同運動会

中高合同で行われる1学期最大の学校行事は、やはり外部施設を借りて行う中高合同運動会です。今年も6月28日(金)に所沢市民体育館で盛大に開催予定です。

本校の運動会は、次の目的を持って実施されています。それは、「生徒で構成された実行委員会を中心に企画運営し、生

徒一人ひとりが責任を持って参加することで、責任感や連帯感を養うと同時に、達成感を感じるにより、建学の精神である「自主自律」を育む契機とする。」です。

昨年度で実行委員会を立ち上げて6年、中学1年から実行委員をやってきた生徒が、高校3年になって実行委員長を務め、目標としてきた「生徒主体の運動会」がついに形となりました。学年練習・予行・本番の進行はもちろん、審判や準備・記録・召集といった係の仕事についても、生徒を動かすのは同じく実行委員の生徒達です。そこに各委員会や各部活動の生徒達が協力し、『チーム家政』の運動会が実現しました。

年号が変わる今年、東京家政大学附属女子中学校高等学校の運動会は『自主自律』の精神のもと、更なる飛躍の年を迎えています。



中学生全員で行う組体操



高校3年生と担任の先生による仮装ダンス

中学校・高等学校2020年度入試 学校説明会

【中学】学校説明会

第1回 6/ 8 (土) 14:00～16:00

【中学】スクールランチ試食会(予約制)

4/21 (日) 11:00～13:00

【小学生対象】夏のオープンスクール(予約制)

7/27 (土) 9:00～16:00(午前午後2部制)

8/25 (日) 9:00～11:00

【高校】学校説明会

第1回 7/28 (日) 10:00～12:00

第2回 8/25 (日) 14:00～16:00

※成績UP講座開催(説明会開始1時間前より)

【高校】部活動体験会

第1回 8/ 3 (土) 9:00～

塾・出版社対象学校説明会

6/24 (月) 11:00～12:30

TEL 03-3961-0748

ミニ学校説明会(予約制)

【中学】※金曜日・土曜日に実施
10:00～12:00

4/27(土)・5/11(土)・18(土)

24(金)・6/ 1(土)・7(金)

14(金)・21(金)・7/5(金)

【高校】※土曜日に実施

9:30～11:30

4/27(土)・5/11(土)・18(土)

6/ 1(土)・8(土)・22(土)

校長メッセージ



附属中学校・高等学校 校長 篠澤 文雄

それには、中・高生の頃から自分の将来像をイメージしながら、さまざまな選択肢の中から自分を最も活かせる生き方を選び、自己を磨いていくことがとても大切です。

その選択肢として、本校には建学の精神の「自主自律」を体現し、自らの理想の「25歳」を追求するヴァンサンカン・プランがあります。社会で活躍し貢献する女性とはどのような女性なのかを考え、自らの理想の「25歳」の実現に向け、今なすべき

KASEIから世界へ

～未来を創造し、世界で輝く女性の育成～

我が国は少子高齢化、国際化を迎え、教育・福祉・医療をはじめ、あらゆる分野において高度化、情報化、グローバル化が急激に進展しています。また、人生100年の時代と言われる、ライフスタイルが多様化し、女性は今、将来を見すえてどのように生きていくかが問われています。

そこには、中・高生の頃から自分の将来像をイメージしながら、さまざまな選択肢の中から自分を最も活かせる生き方を選び、自己を磨いていくことがとても大切です。

その選択肢として、本校には建学の精神の「自主自律」を体現し、自らの理想の「25歳」を追求するヴァンサンカン・プランがあります。社会で活躍し貢献する女性とはどのような女性なのかを考え、自らの理想の「25歳」の実現に向け、今なすべき

ことを積み重ねていくキャリア教育です。その他、海外修学旅行・語学研修やイングリッシュキャンプをはじめ、教科学習やさまざまな体験学習を通して、生徒たちは未来の「なりたい自分」に向けて本校独自の学びを深めていきます。

その学びのコンセプトは、「探究学習」と「英語プレゼン力」の育成です。今や私たちの生活は、地球的課題と無関係ではなく、未来を創造する思考力や課題解決力が必要です。本校では、生徒一人ひとりの学力向上に取り組むと共に、「ひとの生(Life)を支える学」の構築を目指す東京家政大学の附属校として、少子高齢化、国際化する社会で活躍する人材を育成するため、グローバル教育、ICT教育、理数教育の充実をはじめ、課題解決力を育む「探究学習」や英語で社会に発信する「英語プレゼン力」を育成してまいります。

これからも附属中高は、138年の歴史を踏まえ、建学の精神「自主自律」と生活信条「愛情」「勤勉」「聡明」の実践を通して魅力ある学校づくりに努めると共に、豊かな知性と品性を備え、世界で輝く自律したKASEI WOMEN(目指す生徒像)を育成して、附属校としての使命を果たしてまいります。

中学校鎌倉探訪

附属中学校の2年生は、4月19日に行われる行事「鎌倉探訪」に向けて準備を進めています。クラスを混合させた6人班でテーマと見学コースを決定し、当日は班ごとにテーマに沿った自主研修をおこないます。「鎌倉探訪」は、鎌倉の歴史や文化を学ぶこと、自分で考え行動し、集団の中で協力する力を養うことを目的としています。

行事を成功させるため、生徒たちはiPadなどを使って訪問先を調べ、自主研修の内容を決めていきます。2月には各クラスの委員が毎週集まり、どのようなルールやマナーが必要か、小遣いはいくらまでに設定するか、クラスへの説明事項をどうするかなどの詳細を話し合いました。

普段の交友関係にとらわれず、クラスをこえて話し合う場面では、始めはぎこちなかったものの、回を追うごとに打ち解けている様子がかげえました。自分の意見がすべて通るわけではなく、皆で妥協点を見つけて話し合いを進めていきます。こうした活動を通して、協力する姿勢や考える力が育まれます。

4月から後輩を迎える立場の新中学2年生は、附属中学校の要となるべく自覚すると共に、成長の真っ只中にいます。



中学校芸術鑑賞会

〈アラジン 新国立劇場〉

6月21日(土)13:00より、中学校の全生徒は、東京都渋谷区の新国立劇場において、恒例の芸術鑑賞会を行います。新国立劇場は、わが国唯一のオペラ、バレエの専用劇場を有し、世界の一流の歌劇場として、最先端のオペラ・バレエを年間通じて上演しています。今回観賞するのは、日本唯一の国立バレ

エカンパニーの「新国立劇場バレエ団」が演じる「Aladdin(アラジン)」です。誰もが知っているストーリーはもとより、音楽にも親近感があります。そのため、鑑賞することによりバレエによる表現力について探究心が生まれます。人間の持つ体の柔らかさ、しなやかさで表現する幅の広さがバレエにはあります。そして、それを一層盛り上げる音楽を演奏するのが、日本最古のオーケストラで、わが国最大の楽団員数を誇る東京フィルハーモニー交響楽団です。魔法の国のアラジンをついに応援したくなる、そのようなシーンが多く用意されているバレエの舞台上に、生徒達も参加してきます。

Tokyo Kasei Press Vol.80
学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ
2019年4月発行

- 学園運営室
門脇亜希子
川島 直子
坂本 理恵
嶋田花亜菜
- 広報・広告推進提言グループ
熊倉 直子
齋藤 麻衣
阿部 晴香
矢野 穂

- 発行人
菅谷 定彦 (学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者
岩井 絹江 (学園運営室 室長)
- 編集・発行
学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690
- 制作・印刷
株式会社弘文社
- 表紙デザイン
坂本 理恵
- 東京家政大学ホームページ



■ 板橋キャンパス 季節の風景



次号(2019年7月)は、東京家政大学の研究、秋の学園祭、学生・生徒の活動について特集する予定です。掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

今回より新聞版からA4冊子版になり、色使いや見出しレイアウト等どうしたら読み手を引き付けることができるのか、何度も調整しました。報告型から予告型の情報掲載を心掛けました。一人でも多くの方に学園の魅力が伝わればうれしいです。4月より部署異動になり、学園運営室での最後の仕事としてとても勉強になりました。発行スケジュールがタイトな中、ご協力くださった皆様ありがとうございました。(N.K)

新年度が始まり、環境や生活習慣が変わり既にヘトヘトな方も多いのではないのでしょうか？最近読んだ本で「本来の自分と調和する」という言葉に出会いました。生活環境が変わる時期こそ、「本来の自分」がいつの間にか遠くに行ってしまうまいや、その気配を隣に感じて過ごすことが肝心かもしれません。自分の手綱をぐっと引いておかないと！

80号の制作に関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。次号もあたたかく見守っていただけると幸いです。(N.K)

平成から令和と時代が変わる中 Tokyo Kasei Press も Tokyo Kasei Press なでしことしてリニューアル版をお届けします。総務課より学園運営室に発行もバトンタッチされ、人の異動もあり、正に激動の日々でした。学園全体をいきいきと伝えるように努力し、皆様に「伝わる」紙面を目指します。

80号発行にあたり、多忙な中寄稿してくださった皆様に心より感謝申し上げます。(A.K)

菅谷理事長は「これからの時代を乗り切るための組織活性化には情報の共有、コミュニケーション力の強化が不可欠」と折ある毎に話され、先ず挨拶からと学園では“にこにこあいさつ運動”などを進めてきました。

令和元年、ホームページや大学広報冊子もリニューアル、Tokyo Kasei Press も発行を重ね80号となり、新聞形式から冊子とすることになりました。広く親しんでもらえるよう学園創設時の校章、愛を意味する「撫子」から愛称をいただき、「なでしこ」と名付けました。さらに学内で編集チームを編成し、広く多くの情報を収集・提供できる体制を整え、新号発行の運びとなりました。

特に本年より学長構想である「グローバル教育センターの発足」や「教職協働の充実」、「人の生(Life)を支える学」の構築 - 健康生活研究の東京家政大学」などが新たに稼働。東京家政大学の良さを広く社会に発信し、タテ、ヨコ、ナナメの交流が図れるよう、皆さまのご協力を得ながら内容の充実に努めて参ります。(K.I)

東京家政大学では、夢を叶えるために努力する女性を応援します。

東京家政大学・東京家政大学短期大学部

OPEN CAMPUS

2019

事前予約は不要です！

家政学部
人文学部
短期大学部

板橋 キャンパス

健康科学部
子ども学部

狭山 キャンパス

在学生とキャンパスツアー

日程が決まりました 《詳しいスケジュールはホームページで各回公開します！》

大学を選ぶにあたって、あなたは何を重視しますか？
 学科で学べる内容はもちろんのこと、校風や授業の内容、キャンパスライフの過ごし方は、自分の目で見て、感じてみなければわかりません。ぜひ、キャンパスへ足を運んで、東京家政大学に入学した自分をイメージしてみてくださいね！
 学科の先生から直接聞ける「学科説明」、実際の授業を30分に縮小した「体験授業」、在学生が学内をご案内する「キャンパスツアー」、キャンパスライフについて生の声を聴くことができる「在学生とのコミュニケーション」など、もりだくさんのプログラムを用意してお待ちしています。
事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください！

板橋	6.16日 開催時間 9:30 ~ 13:30	7.14日 開催時間 9:30 ~ 13:30	狭山	6.9日 開催時間 9:30 ~ 13:00
8.4日 開催時間 9:30 ~ 13:30	8.5月 開催時間 9:30 ~ 13:30	8.24土 開催時間 9:30 ~ 13:30	7.13土 開催時間 12:30 ~ 15:30	8.4日 開催時間 9:30 ~ 13:00
10.5土 開催時間 12:30 ~ 16:00	12.7土 開催時間 12:30 ~ 16:00	※健康科学部と子ども学部についても、板橋キャンパスの《個別相談》コーナーで相談できます。	8.25日 開催時間 9:30 ~ 13:00	10.6日 開催時間 9:30 ~ 13:00

造形表現学科を目指す方へ

「AO入試」「実技入試」を考えている方は、実技講座「造形学校」にご参加ください！オープンキャンパスの実施日に合わせて開催する他、造形表現学科独自のオープンキャンパスも実施しています。詳しい日程やスケジュールについては、学科のホームページでご確認ください！

“実験や実習を積み重ね 知識と技術を身につけます”

“高校までとは違う” “専門の学び”

“将来の仕事と” “直結した教育で 高い就職率を維持”

その他イベント オープンキャンパス以外にも、受験生を対象としたイベントを多数開催しています！

体験入学《要予約》 大学の授業を2コマ分体験できます。

3.24火
開催時間 10:00 ~ 14:30

3.23月
開催時間 10:00 ~ 14:30

学内見学《要予約》

オープンキャンパスや体験授業の開催日以外にも、大学内を自由に見学していただけます。下記時間帯は職員との個別相談も受け付けていますので、お気軽にお越しください！

平日 9:00 ~ 17:00
土曜日 9:00 ~ 12:00

東京家政大学
TOKYO KASEI UNIVERSITY

板橋キャンパス
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
埼京線「十条」駅から徒歩5分

狭山キャンパス
〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1
西武池袋線「稲荷山公園」駅から徒歩3分

入試に関するお問い合わせは
アドミッションセンターへ
TEL 03-3961-5228



活躍する卒業生
松下政経塾 第38期生

高橋菜里さん
2013年栄養学科
管理栄養士専攻卒業

健康な身体は当たり前ではない。
病気は本人の生きがいや楽しみを奪い、
大切な家族や友人の時間も
巻き込んでしまうんだ

**管理栄養士を目指すきっかけは、
病床で生きる力になった食事**

中学2年生の時に盲腸を経験した私は
病床でそんなことを考えていました。医
師から、「あつと曰手術が遅ければ死んで
いたよ」と言われ、人生は有限であるこ
とを突き付けられました。好きなバスケッ
トボールはできず、筋肉は衰え痩せていく
自分の身体をみて、自分はようになってし
まうのか、学校には戻れるのか、不安に
駆られては毎晩泣きじゃくっていました。
そんな私の支えとなったのが病院での
食事です。病状に応じて変化する食事は
私の血となり肉となり、生きる力を支え
てくれ、食事の変化とともに自分の体調

が良くなっていく実感がありました。日々
の食事のありがたさ、食は健康をつくる
大切な時間であることを知り、私も人々
の健康を食から支えていく仕事がした
い！そんな思いから管理栄養士を目指す
ようになりました。

**どんな大学生になりたいか？
どんな大学4年間を過ごしたいか？**

中学3年生の時に大学探しを始めて、
管理栄養士の国家試験合格率と自宅から
のアクセスの良さから東京家政大学の附
属高校に入学し、その後大学に進学しま
した。私は管理栄養士になることが大学
に入る目的になっていて、いざ大学生に

なった時、「どんな大学生になりたいか？」
というビジョンがないことに気づかされ
ました。大学は4年間もあるのに、その
4年間をどう過ごしたいかを全然考えて
なかったなんて今思うとおかしな話です。
私はそこから自分なりに考え、充実し
たキャンパスライフにしようと、スポー
ツ栄養研究会、料理研究会、食リンピック、
白藤プロジェクトなど様々なサークルや
有志の活動に参加しました。中でも、白
藤プロジェクトの第5期リーダーを務め
させていただいたことは今につながる大
きな出会いとなりました。

**大学4年でNPOを設立、
安定した就職先を選ばず自分の道を**

私は大学2年生の時に東日本大震災が
あり、白藤プロジェクトを通じて支援活
動を行っていました。その中で、食物ア
レルギーがあり支援物資を食べられない
人たちの存在を知り、食物アレルギー対
応の商品開発を行ってきました。その出
会いから大学4年生の時にNPO法人を
設立し、就職活動はせず、自分の立ち上
げたNPOに専従として働く決断をし
ました。安定した就職先を選ばず自分の道
を行くと決めるまでには相当悩みまし
た。給与も保障も充実している友人たち
を見ては羨ましく思う時もありました。
でも、自分のやりたいと思った道にまっ
すぐ進んだことは、普通の就職では得ら
れなかったであろう経験をたくさん積む
ことができました。全国から40近い大学
を集めて食の学園祭を行ったり、小学校
での食育授業や農業体験、防災給食や日

本酒イベントの実施など多岐に渡った活
動を行うことができ、最初こそ苦しかっ
た活動もいつの間にか充実した日々に変
わっていました。

**栄養士や調理員の現場を変えた法律
政治の影響を感じ松下政経塾へ**

そんな最中に直面したのがアレルギー
疾患対策基本法の制定です。法律の制定
前後で現場の栄養士や調理員の対応が変
わる様子を目の当たりにし、政治の力の
大きさを感じました。そこから、果たして
日本の栄養、食、農業などに関する政策
は適正なのかを考えるようになり、今一
度学び直したいという思いから、松下政
経塾に入塾しました。

松下政経塾では、自分の専門分野だけ
でなく、地方自治、経済、財政、教育、
安全保障など幅広い教養が身につけられ、
日々鍛えられています。NPOの時は自
分と近い価値観の人と仕事することが多
くありましたが、まったく異なる視点を
持つ人たちと一緒に学ぶことは、新たな
発見が多く、かけがえのない時間となっ
ています。今は食物アレルギーから視野
を広げてNCDs（非感染性疾患）につい
て国内外問わず研修しています。

私は、地域の魅力を伝えるのも、豊か
な自然を育むのも、健康で過ごせる人生
をつくるのも、すべては食が握っている
と思っています。だからこそ栄養学をもっ
と広く社会に普及・浸透を図りたいと考
えています。これからも自分の人生を貫
き、学び続けたいと思います。